

市長

②公共下水道や浄化槽設置の推進をはかるべく県や国に要望をしている。また清掃船による浮遊ごみの回収や各自治体において湾岸清掃と市民の方に対する啓発を行っている。

都市整備部長

③現在コンクリート構造での築造が一般的であり、石積み工法については、強度的にも困難であると考えている。

市長

モデル的にもできないものか、県と連携し調査と研究を試みたい。

(2)①今年度、高齢者・障害者の方々と災害時に弱い立場の方々の調査を行い、データベース化に取り組みたい。

②当面組織率を現在の20%弱から40%を目標に取り組みたい。

市民生活部長

③高齢者の介護施設等と連携を図り、安心して避難できる避難所の体制づくりに努めたい。

企画部長

④災害に関するボランティア団体や個人登録はないが、講座等で、災害ボランティアの活動を紹介し、積極的に参加できるボランティアの育成や個人や団体のネットワークの推進をはかりたい。

(その他の質問事項)

・市営テニスコートは16面オムニコート要望
・山田の滝を復興すべし!

高齢者の健康は

まもられていますか

震度5強の地震で

学校の校舎は安全ですか

久野議員

(1)高齢者対策について

①健康状態の悪い高齢者は「借家」住まいに多いという指摘があります。市営住宅への入居希望、特別養護老人ホームかグループホームへの入居はどう配慮されますか。

②気軽に参加できる「健康教室」などはどうですか。

③後期高齢者医療制度では、保険料の減免、自治体からの補助金、滞納した場合の保険証の取り扱いはどうですか。

(2)学校施設の耐震化について

①予測される震度はどうか。

②身体に感じる地震の多い橘湾を震源とする震度5強の地震で耐震化補強のない校舎は倒壊します。耐震診断や耐震化はどこまで進んでいるか。

③昭和46年以前に建てられ、しかもコンクリートの劣化で強度が不足した校舎は、耐震補強が急がれる。耐震化の計画はどうか。

都市整備部長

(1)①高齢者等には、くじを2回引く権利を与える優

福祉保健部長 特別養護老人ホームやグループホームの待機者に

については、ケアマネージャーと市の方とも連携を取りながら相談に応じたい。

②地域の方が身近に参加できる場を今後市民の方と一緒に考えながら進めていきたい。

③低所得者世帯に属する被保険者には、軽減措置が設けられる。

保険料の軽減分は、県が3/4、市が1/4を補填することになる。滞納については、短期保険証の発行や原則として資格証明書の交付を行うようになっていくが、広域連合においては、現時点では資格証明書の交付は行わない方向である。

市民生活部長

(2)①大村・諫早北西付近の断層帯での地震規模、マグニチュード7.1のときで、震度6弱から6強と想定される。

教育次長

②大村市における耐震診断率は70%、耐震化率は40%である。

③国の地震防災緊急事業5ヵ年計画に基づき、小中学校の耐震化事業に取り組んでいる。今後は、平成18年度に実施した耐震化優先度調査の結果をもとに耐震補強事業を計画的に実施したい。

(その他の質問事項)

・冷泉寺縄文遺跡、今富城跡などの歴史探訪と観光農業の連携
・地域の人たちに身近で、子どもの遊びを広げる公園づくり

市立病院の職員再雇用と

経営総括について

市民の痛みはどこまで続くのか?

村崎議員

(1)市立病院の職員再雇用と経営総括について

職員の再雇用は早期に明確にすべき問題だ。進捗の状況と、見通しが判明する時期はいつなのか。また、経営総括はどのようなに行い、いつ公開するのか。本質的な経営総括をするには、現場スタッフのヒヤリングをしっかりと行い、失敗の本質をあらわすべきではないか。

(2)市民の痛みはどこまで続くのか?

今後継続していく行財政改革だが、市民の家計を直撃する改革が唐突に行われている。このままでは市民の賛同は得られないどころか、市民の生活が破綻する。当局のやり方はあまりにも不誠実だ。財政再建に向けて、これからどんな痛みを耐えねばならないのか、検討している内容や期間について、市民の理解を得られるよう洗ひざらい開示すべきだ。市民、議会に対して「痛みリスト」を提示する考えはないか。また、市長がこれだけは最低限、堅持したい補助金、料金、制度はあるのか。